

水源の里だより

「水源の里まいばら元気みらい条例」の見直しに向けて

上流と下流が支え合う関係づくりを進め、過疎・高齢化する集落の持続的発展を目指す条例として、平成21年6月に施行した水源の里まいばら元気みらい条例。

この条例では、施行から5年を経過したときに、条例の内容や関係施策の実施状況に検討を加え、必要な見直しを行うことと定められています。平成26年6月でこの条例施行から5年が経過することを受け、市民や有識者などで構成された「水源の里まいばら元気みらい条例推進委員会」では、条例の見直し等の提言に向けた議論が進められています。

市では、推進委員会からの提言を踏まえ、条例改正案や関係施策の具体的な内容の検討を進める予定です。

今後のスケジュール（予定）

平成25年度	
12月	条例および施策についての提言
1月	条例改正案等の作成
3月	市民フォーラムの開催
平成26年度	
4月	パブリックコメント実施
6月	条例改正案の上程



◀ 水源の里まいばら
元気みらい条例推進委員会
※これまでの議論の経過は
公式ウェブサイト上に公
開しています。

▼委員会での意見

生き生きとしたお年寄りの姿を見ていると、これまでの高齢者という概念は大きく変わった。高齢者を特別扱うのではなく、視点を変える必要があるのではないか。

集落の自治を維持するためには、家の代表者だけではなく若者も女性も、住民総ぐるみで自治に参加していく必要があるのではないか。

この条例は一部の地域のためのものではなく全ての市民のための条例であるべき。

もっと広く市民に「水源の里」についての関心を高める必要がある。

他の地域の人たちと交流しながら取り組みを進める必要性を感じる。

この委員会に関わるようになって、米原の魅力を知り、素直に感動しています。地域を訪れるたびに少しずつではありますが、住民のみなさんの意識の高まりを感じます。今からがようやく始まりなのではないでしょうか。そういう意味でも今条例を見直すことは大事なことだと思います。



板山きよ美委員

STUDIOこほく代表、
NPO法人びいめ〜る企画室
理事長

過疎・高齢化の問題は、都市・地方に限らず、これからこの自治体も抱えていく問題です。米原市の過疎・高齢化集落の取り組みは、いわば先行事例であって、もしかしたら近い将来、大都市の自治運営のモデルとなる時代が来るかもしれない。そんな思いを持って、この条例の見直しに取り組んでいます。



押谷茂敏会長

一般社団法人地域問題研究所
主任研究員、
(有)押谷地域設計代表

■条例の見直しに向けた委員の声



水源の里まいばら元気みらい条例の
重点施策対象地域では
こんな**取り組み**が行われています

姉川せせらぎ懇話会

田舎のごっつおバイキング

水源の里まいばら元気みらい条例で重点施策対象地域として指定する上板並、下板並、大久保、小泉の4集落でつくる、まちづくり団体「姉川せせらぎ懇話会」は、地域の元気づくりに向けた様々な取り組みを行っています。

4年前に始まった「田舎のごっつおバイキング」は、その取り組みのひとつ。各集落から様々な世代の女性が集まり、昔ながらの郷土料理や地元の食材を使った「ごっつお」を作ります。多くのお客様に食べていただく機会を通じて、大切な食文化を引き継ぎ、地域の魅力として多くの方に伝えていくことを目指しています。

11/10
日

田舎のごっつおバイキング

11時30分～14時
ふれあいの里（上板並1759番地）
料金：中学生以上 1,800円
小学生 900円
（幼児無料）
定員：50人（要事前予約）
問 事務局 ☎090-8753-7254



姉川せせらぎ懇話会事務局を務めるみらいづくり隊の加藤です。今年、ふるさとを離れて暮らす方にもごっつおバイキングへの参加を呼び掛けました。お盆や正月以外にも地元に戻ってくるきっかけを作り、ふるさとや家族との絆を強めて欲しいと思っています。

東草野に感謝する集い実行委員会・ 東草野まちづくり懇話会 東草野に感謝する集い

同じく重点施策対象地域に指定されている甲津原、曲谷、甲賀、吉槻の東草野地域では、10月5日、生徒6人が通う東草野中学校で、「東草野に感謝する集い」が開催されました。

東草野中学校と東草野まちづくり懇話会が中心となり、PTAや各区、地元の若者など様々な関係者が集まり実行委員会を結成。運動会の復活に向けた話し合いを重ねる中で、地域住民も参加する新しい行事として復活することとなりました。

当日は、地域のみなさんだけではなく、地域外で暮らす出身者の方々も集まるなど多くの参加者でにぎわい、子どもたちとともに歓声を上げていました。地域がひとつになる新たな行事として定着することが期待されます。



実行委員会事務局と東草野まちづくり懇話会事務局を務めるみらいづくり隊の柳生です。

この取り組みは、生徒数の減少で開催できなくなっていた運動会を復活させたいので協力して欲しいという東草野中学校からのお話がかきかけとなりました。運動会の復活に向けてみんなが盛り上がり、学校と地域が一体となって開催できたことが大きな成果だと思います。

お問い合わせ 政策調整課 水源の里振興担当（伊吹庁舎） ☎58-1121 ☎58-1630